

若手漁業者の担い手育成について

大隅地域振興局 林務水産課

【背景・目的】

ねじめ漁協は、カンパチを主体とした魚類養殖が盛んであり、H24年度生産量は2,698トン、水揚金額は約20億円に至っている。しかし、近年のカンパチ単価の低迷や餌代の高騰などにより漁業経営は厳しい状況にある。

そこで餌を減らした独自のスタイルでカンパチ養殖に取り組んでいるねじめ漁協所属である丸秀水産の小浜洋志氏に、今の養殖スタイルに至った経緯や現在の取組み状況を紹介してもらうとともに、将来は県全体の若手漁業者の担い手として、養殖業界を活性化させるような活動ができるよう、青年漁業士の認定に向けて活動を支援した。

【普及の内容・特徴】

ねじめ漁協組合長の了解のもと、小浜氏の魚類養殖への独自の取組みや魚食普及活動を積極的に紹介できるよう、県の活動実績発表大会への発表を支援するとともに、将来は県全体の漁業者の模範となるよう、漁業士への推薦も行った。

（普及活動内容）

H24 10～12月 県の活動実績発表大会に向けた発表指導

H25 1月 県の活動実績発表大会

2月 全国女性・青年漁業者交流大会にて発表

8月 県青年漁業士に認定

その他：毎年12月には沖縄にて鹿児島のカンパチのブリ、カンパチの販売促進活動を実施。

また、鹿児島青年会議所の一員として活動中。

【成果・活用】

小浜氏は餌を抑えたカンパチ養殖手法が高く評価され、全国女性・青年漁業者交流大会では「水産庁長官賞」および「全漁連海面魚類養殖対策協議会会長賞」を受賞できた。また販売促進活動にも積極的に取り組んでおり、自らジュニアシーフードマイスターを取得して、県漁連と協力して沖縄のスーパーまで出向いて鹿児島の代表的な養殖魚であるブリやカンパチの販売活動を行ってきた。

青年漁業士に認定されたが、低迷が続く養殖業界の活性化のために自らの養殖技術の改善や普及、販売促進活動などを継続してもらい、今後も県全体の水産業の発展に積極的に寄与して欲しいと考えている。



図1 出荷サイズのカンパチ



図2 販売促進活動



図3 県実績発表大会



図4 漁業士認定



図5 小浜氏の取組みを紹介した新聞記事
(水産経済新聞 平成24年8月17日掲載記事)